

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0054 - 05

令和5年度セグメントシート

(国立青少年教育振興機構)

セグメント名	青少年教育に関する調査研究			担当部局庁	総合教育政策局	作成責任者		
事業開始年度	平成18年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域学習推進課	地域学習推進課長 高木 秀人		
会計区分	一般会計							
セグメント単位の考え方	-							
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人国立青少年教育振興機構法 第3条、第11条			関係する計画、通知等	新たな教育振興基本計画(令和5年6月16日閣議決定) 子供・若者育成支援推進大綱(令和3年4月6日子ども・若者育成支援推進本部決定) 国土強靱化年次計画2023(国土強靱化推進本部決定)			
				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (5行程度以内)	独立行政法人国立青少年教育振興機構が行う業務(青少年教育の振興及び健全な青少年の育成)にかかる経費の一部に充てることにより、同機構の業務の円滑な実施及び同業務の推進に資する。							
現状・課題 (5行程度以内)	これまで、青少年の健やかな成長と自立を推進するため、安全安心な体験活動や集団宿泊活動等を通して、青少年の現代的課題に対応したモデル的プログラムの企画・実施、基礎的・専門的な調査研究、学校や青少年教育団体等の活動に対する指導・助言などに取り組んできた。また、青少年教育団体と連携し、社会全体で体験活動を推進する気運を高めるため、「体験の風をおこそう」運動、「早寝早起き朝ごはん」国民運動を推進し、青少年の基本的な生活習慣の形成を図るなどの課題に積極的に取り組んできた。しかしながら、青少年が行う体験活動の機会や他者と直接的にコミュニケーションを図る機会は減少していることや、青少年を取り巻く環境が多様化・複雑化していることから、青少年教育に関する独立行政法人国立青少年教育振興機構の役割と期待が大きくなってきており、認知度を高めるための広報や体験活動の有用性を明らかにするための調査研究などの課題についても、適宜対応する必要がある。							
事業概要 (5行程度以内)	青少年教育に関する基盤的・課題別の調査及び研究を行い、その成果等を広く提供・活用することにより青少年教育の振興を図る。							
事業概要URL	https://www.niye.go.jp/							
予算額・執行額 (単位:百万円)	経常収益	予算額	当初予算: 運営費交付金(A)	176	112	116	-	-
			補正予算: 運営費交付金(B)					
		執行額	運営費交付金(C)	174	107	110		
			補助金等(D)	-	-	-		
			その他(E)	45	48	69		
			計(F) =(C)+(D)+(E)	219	155	179		
		運営費交付金収益の割合 =(C)/(F)		79.5%	69.0%	61.5%		
		運営費交付金収益化基準		業務達成基準	業務達成基準	業務達成基準		
経常費用	予算額(G)	282	167	163				
	執行額(H)	278	174	195				
	執行率(I) =(G)/(H)	99%	104%	120%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)	独立行政法人国立青少年教育振興機構運営費			-			
	(目)	独立行政法人国立青少年教育振興機構運営費交付金	162					
		その他	▲ 162					
		計(A)	-	-				

活動内容① (アクティビティ)		青少年教育に関する基盤的・課題別の調査及び研究を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		調査研究の継続的な実施	基盤的・課題別調査研究の実 施数	活動実績	件	-	11	8	-	-
				当初見込み	件	-	-	-	-	-
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		基盤的・課題別調査研究に取り組み、当該調査結果を学会や全国的な会議等において中期目標期間中に19回発表することにより、当該調査研究成果等を広く提供・活用し青少年教育の振興を図る。						
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		研究成果の普及	学会や全国的な会議等にお ける発表数	成果実績	件	3	5	1	-	
				目標値	件	-	-	-	19	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人国立青少年教育振興機構調べ								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		中期目標に定められている指標である「全国規模の会議等での発表や説明の機会を設け」ることにより、主務大臣による当該目標期間の業務実績の評価において、標準以上の評価をえる。						
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		独立行政法人通則法に基づく、主務大臣による中期目標期間の業務実績に関する評価のうち、当該項目について標準以上の評価を得る。	当該項目評価の標準評価(B 評価)	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	100	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		独立行政法人国立青少年教育振興機構の第4期中期目標期間における業務の実績に関する評価								
↓		成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)		子供たちの体験活動を推進し、学校以外の公的機関等が行う行事へ参加した子供の割合が増加することで、国立青少年教育振興機構のミッションである「青少年教育の振興、健全な青少年の育成」を実現する。						
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		青少年教育の振興、健全な青少年の 育成	学校以外の公的機関等が行 う行事へ参加した子供の割合	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		青少年の体験活動等に関する意識調査(令和元年度調査) 令和元年度:50.0% ※全体から「参加しなかった」と「不明」とを引いた割合。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

独法所管部局による点検・改善

<p>点検結果</p>	<p>本事業により、基盤的及び課題別の調査研究を8事業実施することで、我が国の青少年教育に関する有用な知見を得ることが出来ている。 今後限られた予算を有効活用しながら、より成果の創出が図られるよう、創意工夫していくことが課題である。</p>	<p>目標年度における効果測定に関する評価(令和8年度)</p>
<p>改善の方向性</p>	<p>限られた予算でより効果的な青少年教育に関する有用な知見が得られるよう、今後も基盤的及び課題別の調査研究について引き続き取り組んでいくこと。 また、課題を踏まえ、成果の普及体制の構築の一つとして「青少年教育研究考察会議」を実施し、YouTubeチャンネル等を活用して成果の普及を図っているところであり、引き続き効果的・効率的な成果の普及について検討を進めていくこと。</p>	
<p>備考</p>		
<p>支出先上位10者リストの落札率については、同種の他の契約の予定価格を類推させる恐れがあるため非公表とする。</p>		

文部科学省

8,405百万円

〔青少年教育指導者その他の青少年教育関係者に対する研修、青少年の団体宿泊訓練その他の青少年に対する研修、青少年教育に関する施設及び団体相互間の連絡及び協力の促進、青少年教育に関する団体に対する助成金の交付等を行うこと。〕

〔 交付 〕 ※ 国費投入額と総事業額との差額は自己収入である。

[A]

独立行政法人国立青少年教育振興機構

9,620百万円

[F]

青少年教育に関する調査研究

民間企業等
全135件

〔 青少年の体験活動の重要性等、青少年教育に関する調査研究。 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

